



インクジェット用

JP-TPRHAGA6

はがせる アイロン転写紙

この度は、サンワサプライのインクジェット用はがせるアイロン転写紙をご購入いただき、誠にありがとうございます。この用紙はインクジェットプリンタで印刷した画像をアイロンを使って白や濃色のカラーTシャツなどの布に転写することのできる用紙です。従来品は一度アイロン転写をすること二度とはがすことはできませんでしたが、この用紙はガムテープを使って一度貼り付けた転写紙部をはがすことのできる便利な用紙です。失敗しても大丈夫なので、初心者の方におすすめです。この用紙を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよく読みください。

ご使用になる前にご確認ください。

この用紙は、インクジェットプリンタで簡単にオフィスのアイロン転写ができる便利な用紙ですが、転写後の布は市販されているプリントヤヤシルク印刷されている布などと異なり、デリケートな取り扱いが必要です。これらの布と同様に取り扱わないようご注意ください。インクジェットプリンタのインクの性質上、洗濯を重ねると色落ちしたり、アイロンが足りないときはけたり、また洗濯方法に気をつけていただく必要があります。用紙自体の耐久性も高めましたので、デリケートもご理解いただいた上で、ご使用いただけますようお願いいたします。また洗濯方法についてP.8「洗濯について」の欄をご覧ください。(「はがせる」という特性上、通常の転写紙より洗濯時に転写部がはがれやすくなっています)。

洗濯耐久性はあけていますが、洗濯によりじみや色落ちが生じることがあります。インクは黒、赤、青、黄の順で色移しやすくなっています。(黒が一番にじみやすい。)やりかえし洗濯をされるものには黒をメインで使われないことをおすすめします。

この用紙は失敗しても転写部分がはがせる、やり直しのできる「はがせる」転写紙です。

ポリエステル100%など対応していない布に転写はできません。対応していない布に転写すると、色落ちやはがれにじみなど不具合が発生します。対応する布について、詳しくは下記および取り扱い説明書をご覧ください。

△安全上のご注意

アイロンを使用しますので、やけど、火災に十分にご注意ください。特にお子さまだけによる取り扱いはおやめください。
ご使用前に本製品をご使用になるアイロンの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

転写できる布

白・淡色の布や、黒や赤など濃色のカラー布で、綿および綿ボリ素材のものに転写できます。

1 生地素材

綿100%から綿50%・ポリエステル50%の混紡率の綿ボリ素材まで、転写可能です。(ポリエステル50%以上の混紡率、及び綿・ポリエステル以外の混紡生地については、転写不良の起こる可能性があり、お求めできません。また、対応布以外のものに転写されると、色落ちやはがれの原因となります。)ポリエステル50%以上の綿ボリ素材、ナイロンなどの化繊布には、化繊用アイロン転写紙「JP-TPRTE」をご利用ください。詳しくは弊社サイトをご参考ください。

2 生地密度(粗さの目安)

左記の写真(原寸)のように、縦目及び横目のいずれかの大きい方の縦目の間隔が1mm以内のものをご使用ください。(これより目の粗いものは、転写不良の起こる可能性があり、お求めできません。)

3 防水加工など特殊な加工がされていないもの

事前に一度洗濯をされる事をおすすめします。

準備するもの

プリントする布地

(綿ボリ綿ボリ素材)

転写前の洗濯を

おすすめします。

素材について

「転写できる布」

をご覧ください。



アイロン転写紙

右にカッターが付いています。

転写部が印刷面です。

シリコン紙

何回も再利用できます。

(裏表はありません。)

しづが入っている部分は使用しないでください。

使 用 方 法

1 デザインをします。

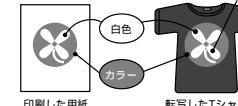
お好きな画像、イラストを使ってあらかじめデザインをします。その後、アイロン転写紙の表面にそのまま正像でプリントします。

最新の情報、自由に使える画像やイラストなどの素材のダウンロードについては、
用紙専用サイト「ペーパーミュージアム」
<http://www.sanwa.co.jp/paper/> または、
<http://www.sanwa.co.jp/> ^go!

ワンポイント 白色が簡単に作れる!!

プリンタは白色のインクを持っていないので白色は印刷できませんが、転写紙の印刷しない部分がそのまま白色で布地の上にのります。性質をもって白色を作ることができます。

印刷しない部分が下地にのせて白色に。



ご注意

洗濯耐久性はあけてありますが、洗濯によりじみや色落ちが生じることがあります。インクは黒、赤、青、黄の順で色移しやすくなっています。(黒が一番にじみやすい。)繰り返し洗濯をされるものには黒をメインで使われないことをおすすめします。

2 印刷をします。

デザインした画像をそのまま正像でアイロン転写紙に印刷します。

プリンタについて このアイロン転写紙が使えるのは、下記のプリンタです。

エ プ ソ ン : ポト・マッハジェットプリンタ(PM2シリーズ)

マッハジェット・プリンタ(MJシリーズ)

PM-4000PX, PX-G900-V600, CC-600PXなどの顔料系インク不対応

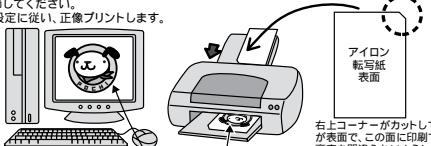
キ ャ ノ ン : バルジェットプリンタ(PIXUS-BJC・BJシリーズ)

レックスマーク : カラーアイントラクション

hp・NEC製プリンタでは色落ちが激しいため対応していません。

印刷について

- 用紙サイズを必ず「A6」にしてください。(A6サイズがない時は「はがき」サイズを選んでください。その際の部分が印刷されませんので、デザインにご注意ください。またその時、「チチなし全面印刷」は用紙の端が汚れることがありますので選ばないでください。)
- 用紙を置いた時、右上のコーナーがカットしてある方が表面で印字面になります。表面がプリントのノズル側にくるように用紙をプリントに差し込んでください。
- この用紙は手差しして1枚1枚給紙してください。給紙されにくい時は、用紙の後ろにA6サイズの堅めの台紙を置いてください。
- 使用するプリンタの機種によりわざかに濃淡の差があることがあります。その場合は、各機種の取扱説明書に従い濃度調節を行ってください。また、プリンタ各種に応じてカラーバランス・ gamma補正・各色の濃度などを調整してください。
- 下記の用紙設定に従い、正像プリントします。

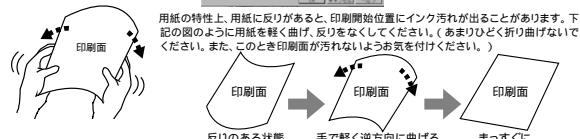


用紙設定・モード設定(例)
印刷の際には下記のモード設定をご使用いただくと良好な画像を得ることができます。

プリンタ	用紙設定(用紙種類)	印刷モード
エプソン PMシリーズ 1	普通紙	きれい/スーパーフайн/ファイン
エプソン MUシリーズ	普通紙	きれい/スーパーフайн
キヤノン 2	普通紙	標準/ファイン
レックスマーク	普通紙	ベスト/ノーマル/高品位/標準

注: hp - NEC製プリンタなど左記以外のプリンタには対応しておりません。

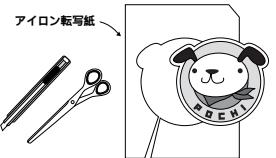
- エプソンプリント PM-400XP, PX-G900・V600, CC-600PXなどの全色顔料系インクには対応していません。
- PIXUS Sシリーズなどで「用紙の種類」を「普通紙」「印刷品質」を「標準」で印刷すると、横筋が入ることがあります。より美しい印刷のために、「印刷品質」で「カスタム」を選び、「設定」で「品位」・「高品位」を選んでください。



ご注意

アイロン転写紙の表面がプリントのノズル側にくるように用紙をセットしてください。(裏表に間違えないように。)
アイロン転写紙の右上コーナーがカットしてある方が表面です。
用紙の周囲が汚れやすくなるまでの、「チチなし全面印刷」はしないでください。
用紙をカールしてしまった場合は直してセットしてください。
用紙設定でキヤノン、エプソンなどの「シャツ用紙」、「アイアンプリントペーパー」は選ばないでください。画像が反転してしまいます。
エプソン製プリンタMシリーズで黒や濃い色が多く使って印刷するときは、用紙設定で「アイロンプリントペーパー」を選んでください。また、その際は画像が反転されますので、元の画像を反転させておき、印刷画像が正像になるようにしてください。

3 アイロン転写紙の余白部分を切り取ります。 イラストにそって余白部分をキレイに切ってください。



ご注意
画像に合わせて周囲をきれいに切り取ってください。白く残った部分はすべてそのまま白く転写されてしまいます。
複雑な形にされると、後ではがしにくくなるのでご注意ください。
印刷後は20~30分以上乾燥させてから速やかに転写してください。
印刷後はにじみや変色などが生じるおそれがありますので、長時間放置しないでください。

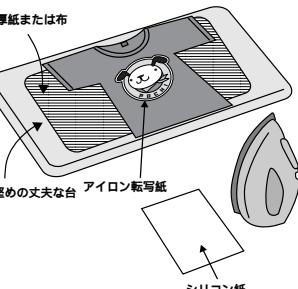
4 アイロン転写紙をゆっくりとはがします。



ご注意
デニム地に転写する時は、転写紙をはがさないでください。P.6の「デニム地に転写する時の説明をご覧ください」。
アイロン転写紙を剥がす時ははがすと、アイロン転写紙が伸びるおそれがありますので、はがすときはゆっくりはがしてください。
複雑な形にする、アイロン転写紙がまるまるしたり、やぶれたりして、手で転写できないことがありますのでご注意ください。

5 堅めのアイロン台とアイロン、転写する布、シリコン紙を用意します。

表面の堅いアイロン台または厚紙や布を敷いた堅くて丈夫な台と、Tシャツなど綿または綿ボリ素材の布、シリコン紙を用意します。転写できる布についてよくご確認の上、作業を行ってください。



ご注意
綿または綿ボリ素材(ポリエステルの混紡率は50%まで)の布に転写できます。
防水加工のもの、縫目目の粗いもの、縫い目のある部分への転写には適しません。「防水加工」と表示がない商品もありますのでご注意ください。
布製品の中には表面に油分を含んでいるものがあります。そのまま転写すると、洗濯時にはがれやすくなることがあります。
一度洗濯をなべて転写することをおすすめします。
Tシャツなど布にしづがある時は、あらかじめアイロンでしづのばして下さい。
染料の性質上、デニム地に転写する時は、アイロン転写紙の白い部分が黄されることがあります。通常と異なる転写方法をする必要があります。詳しくはP.6の「デニム地に転写する時」をご参照ください。

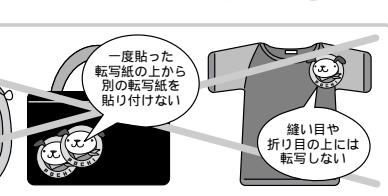
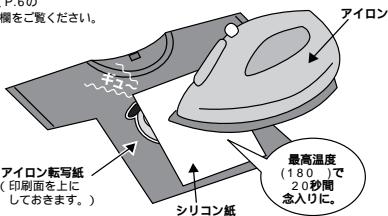
6 アイロンをかけます。

プリントする位置にアイロン転写紙を印刷面を上にして置き、シリコン紙をあてて、両手で体重をかけてから強く押さえつけるようにしっかりとアイロンをかけます。

デニム地に転写される際は、P.6の

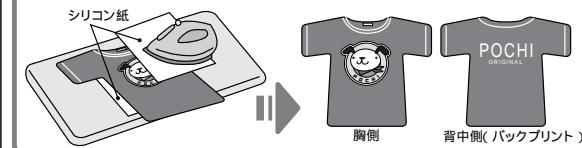
「デニム地に転写する時の欄をご覧ください。」

アイロンは両手を使って、全体重をかけて念入りにかけてください。
温度は180（最高温）、ドライにしてください。



Tシャツなどで背中・胸側の両面にアイロン転写するとき。

Tシャツなどで背中・胸側の両面にアイロン転写をするとき、転写紙部分とアイロン台の間に必ずシリコン紙をひいてください。シリコン紙がないと、アイロンの熱でアイロン台に直接ふれた転写部分が、アイロン台にはりつくことがあります。その際、シリコン紙は切ってお使いください。



アイロンについて

アイロンは約5分間、予熱してください。

スチームの使用はしないでください。

家庭用アイロンでスチーム穴があるときは、その部分でムラが発生しやすいため、穴のない平らな面を使って転写してください。

コードレスアイロンの場合、アイロン中に温度が低下しますので、こまめに充熱してください。

コードレスアイロンの場合、アイロン中に温度が低下しますので、こまめに充熱してください。

転写について（アイロン掛けのコツと注意）

転写する画像の大きさ、印刷内容によって、アイロンをかける時間を変えてください。画像の濃度が濃いもの、または押さえづけるアイロンが小さく転写部分がアイロンからはみ出すときは、アイロンをかける回数と時間を多めにしてください。その際、布やアイロン転写紙が焼けないようご注意ください。

必ず1カ所で20秒ずつ押さえづける作業を2~3回繰り返して、全面に均等に熱と力が加わるようにしてください。特に周辺と角にしっかりとアイロンをかけてください。

アイロン転写紙の裏表を間違えないようご注意ください。逆に置くとアイロンまたはシリコン紙についてしまいます。

シリコン紙なしで直接転写部分にアイロンをかけないでください。転写部分が溶けてしまいます。

均一に熱が加わらないとムラができる、きれいに転写できません。

アイロンが不十分だと色落ちしやすかったり、洗濯時に転写部分がはがれやすくなります。

間違って転写した転写紙の上から、別の転写紙を貼りつけないでください。色にじみ、色落ち、はがれの原因になります。

加熱熱に蒸気および臭気が発生することがありますので、換気のよい所で作業してください。

アイロンの熱や作業によっては、素材を焦がす恐れ、またカラー布が変色する恐れがあります。注意しながら作業をすすめてください。

シリコン紙について

シリコン紙は10~20回程度使用できますので、大切に保管してください。なお、20回未満でもシリコン紙に色移りがあるようなら、使用をやめてください。その際は、市販のシリコン加工をしてある耐熱性のあるオフカッティングシートなどをお使いください。（念のため、いらない部分でお試しの上ご使用ください。）

アイロンをかけた布が十分に冷めてから、シリコン紙をはがしてください。

注意!! デニム地に転写する時

デニム地は染料の性質上、通常の方法（P.5 の⑥の方法）でアイロンをかけると、白い部分が青く染まることがあります。デニム地に転写する時は、以下の方法で転写作業を行ってください。

転写紙にアイロンをかける。（予め余白部分を切り取っても可）



転写紙の上にシリコン紙を置き、180度で20~30秒間ずつ

全体にまんべんなくアイロンをかける。

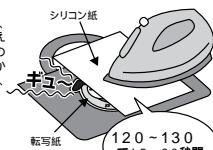
この過程で熱をかけることで転写紙の表面に耐水性被膜をつくり、色にじみ・色落ちを防ぎます。

⑥の準備をしてアイロンをかける。

プリントする位置に、アイロン転写紙を印刷面を上にして置き、シリコン紙をあてて、両手で体重をかけてから強く押さえつけるようにしっかりとアイロンをかけます。転写する時の設定温度が低くなっています。アイロンが十分に冷えてから作業を行ってください。ここでアイロンの温度が高いと、転写紙の白い部分が青く染まってしまいます。）

アイロンは両手を使って、全体重をかけて念入りにかけてください。温度は120~130度、ドライにしてください。

その他注意事項は④⑤および⑥の「ご注意」をご参照ください。



7 できあがり!!

アイロンをかけることで水性インクが染まり、色落ちにくくなります。またアイロンで加熱・加圧されることでアイロン転写紙の印刷表面に耐水性被膜が形成されるので色落ちにくくなり、洗濯を繰り返しても色が鮮やかです。

初めは余分なインクが水洗いなどにより多少流れ出します。

10回程度の洗濯では色落ちなどの心配はありません。それ以上のお洗濯では若干色があせてくる事があります。(但し、全ての条件に従って印刷・転写されている場合)

色々なアイデアであなただけのオリジナルプリントグッズを作ろう!

ご注意

転写後の布を身につけたまま、海水や水の中に入らないでください。にじみや色落ちが起こることがあります。

転写後のシャツなどの布を着用中、または着用後に肌荒れなど肌に異常があった場合は直ちに着用をやめてください。

重ね着する色移りなどがありますので、一度洗濯をしてからの着用をおすすめします。転写後、半日くらいおいてから洗濯を行ってください。



8 転写部分のはがし方

「アイロン転写に失敗してしまった!」、「洗濯していたら色があせてきたのでまた転写し直したい」、「鉢柄にあきてしまった」そんな時は、以下の方法で転写部分をはがしてください。

ガムテープとコップなど固いものを用意します。

はがしたい転写紙の部分にガムテープを貼ります。(ガムテープを貼った部分をはがすことができます)。はがしやすいように、絵柄よりはこ大きめにガムテープを貼り付けています。



ガムテープの上をコップの底など固い部分で10回ほど強くこすります。(ガムテープの接着剤を転写部分に十分にこづけます。Tシャツなど布の方に接着剤などをついてしまわないよう転写部分の上のみこすってください。)



ガムテープを端から勢いよくはがします。はがした転写紙は使えません。



残りも ~ を繰り返してはがします。

注

転写部分をはがした後は、生地が多少痛んでいることがあります。
強くこづけると、生地がびくびくすることがありますので、ご注意ください。

はがした部分は、多少生地が毛羽だったり、色目が薄くなったりすることがありますが、一度洗濯をすると目立たなくなくなります。

生地の粗さ、転写時の力のかけ方の強弱によりはがやすさは変わってきます。力の強くかった部分ははがしにくくなっています。はがしにくい時は1、2回洗濯するとはがやすくなります。

洗濯について

重要

誤った洗濯方法は、色落ちにじみ、はがれなど不具合をおこす原因になります。
下記の指示に従ってください。

「転写部分をはがせる」という用紙の特性的ため、通常のアイロン転写紙より洗濯耐久性が弱くなっています。はがれがちになります。また、必ずアイロンで加熱・加圧してください。(はがれがまき落すると転写部分がホロボロになってしまいます)。また、インクジェット・プリタで印刷しているため、通常の洗濯ものと異なるデリケートな取扱いが必要となります。市販されているプリントシャツなどと同様に扱わなければいけないとしてください。下記の注意に従って、洗濯機で洗濯してください。(手洗いはしないでください)。

洗濯する際の注意

つけあきはしないでください。

色落ちの原因になりますので、ドライクリーニングはしないでください。洗濯にはかなり冷水をお使いください。風呂の残り湯は使わないでください。また、手洗いはしないでください。

漂白剤、柔軟剤は使わないでください。
マイナスイオン洗濯、タンソーラー洗濯など、特殊な洗濯方法は選はないでください。激しく色落ちすることができます。

注: 洗濯耐久性を上げましたが、多くの汗や雨水などに濡れた状態で長時間放置しないでください。にじみがたり、色移りしていくことがあります。(やむなく放置される時は、転写部分が他の布に触れないよう、形を整えてください。色移りを避ることができます)。

転写部分を裏返し、ネットに入れてください。アイロンのかけ方が不十分だと色落ちすることができますので、他の衣類とは分けずに洗濯してください。

冷水や家庭用洗濯機で弱水流して洗ってください。30℃以上の温水での洗濯は避けてください。(お風呂の残り湯などはにじみや色落ちの原因になりますので、使用しないでください。)

(市販の洗濯洗剤を使用してください。) (但し、漂白剤入りの洗剤、漂白剤、柔軟剤は使用しないでください。) 洗濯後、脱水後もねくれた状態となり、転写部分が剥げきやすい状態となりますので、直ちに取り出し、形を整えて陰干してください。乾燥機での使用はお避けください。

シートの特性上、少しずつ差し込みひがみが生じることがあります。

洗濯後のアイロンかけについて

洗濯堅牢性に優れていますが、カーペット物の一部がはがれ、浮き上がりが見られたら再度シリコン紙を介して加熱蒸すことをお勧めします。アイロンをする際は、転写紙は元通りに貼り付けられます。アイロンのかの方は、**⑥**を背にしてください。(デニム地の場合は、P.C.でデニム地に転写する時、を参照ください。) 転写した部分にアイロンをかけるときは、必ずその部分にシリコン紙を置いて行ってください。

使用上の注意

対応布、対応プリント、転写方法、洗濯方法など、ここに記載されている以外の方法でご使用になられた場合に生じた不具合について、当社では一切の責を負いかねます。予めご了承ください。アイロンを使用しますので、やけど、火災にご注意ください。特にオサマだけによる取り扱いはおやめください。

ご使用時に本製品とアイロンの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

印刷面をこすったり、傷をつけたり、折り曲げたりしないでください。

プリタの種類、プリタの印刷モード、インク、ドライバソフトなどにより画像色・画像の精細さが変わることがあります。

布地に転写されたものはがすことはできませんので、テストをしてから本番の布に転写してください。また、失敗の責任は負いかねますので了承ください。

用紙は必要なだけ取り出し、開封後はなるべく早めにお使いください。(開封後2ヶ月まで)
コピー機、レーザープリント、ドットプリンタ、熱転写プリントなどインクジェットプリンタ以外では使用できません。

保管上の注意

使用しない用紙は必ずビニール袋に入れて気温40℃以下、湿度80%以下の場所で重量がからなりないようにして、水平にして保管してください。外で長い時間放置をいたしましたと、反りが発生したりする可能性があります。

高温、高湿、直射日光、蛍光灯の光など、また空気中の流れ(空調などの)ある場所を避けて保管してください。開封した車内や、ランクなど、高温になる条件での保管は避けてください。

開封後はなるべく早めにお使いください。

万一故障の上に不備がございました場合には、同数の新規品をお取り替えいたします。それ以外の費はご負担いただきます。本製品は保管条件によって変色、褪色しますが、この点についてのお取扱い、その他の補償はございません。

商品改良のため、仕様・外観は予告無く変更することがありますので了承ください。

記載の社名及び製品名は一般に各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社
www.sanwa.co.jp